

JF日本語教育スタンダード タスクと評価基準の例 書くこと B2

	評価対象	不 達 成	惜 しい が 不 達 成	ほ ぼ 達 成	達 成	大 幅 に 達 成
内容	5つの情報が含まれている(3点) (a)-1 コンピューターを使ったコミュニケーションの長所 (a)-2 コンピューターを使ったコミュニケーションの短所 (b)-1 コンピューターを使っている人とその目的 (b)-2 コンピューターを使っていない人とその理由 (c)両親がコンピューターを使えるようになるための工夫	0	1	2	3	4
構成	B2 論拠となる詳細関連事項や具体例などによって自分の 主要な論点を補強して、明快な描写や語りをすることができる。 (2～4点)	0	1	2	3	4
言語能力	B2.1 言葉を探していることをそれほど感じさせずに、明確 な描写や、自分の視点の表明、議論の組み立てが充分に 可能なだけの言語の幅を持っており、複雑な文構造で使える ものもある。(2点) =====	0	1	2	3	4
	B2.2 自分自身が言いたいことを明確に述べることができ、 その内容を制限している感じを与えることはそれほどない。 (3点～4点)					
読み手意識	読み手を意識した書き方をしている。(3点)	0	1	2	3	4
課題達成度		8点以上ならB2				